



生きる

生きているということ
いま生きているということ
それはのどがかわくということ
木もれ陽がまぶしいということ
ふっと或るメロディを思い出すということ
くしゃみすること
あなたと手をつなぐこと

生きているということ
いま生きているということ
それはミニスカート
それはプラネタリウム
それはヨハン・シュトラウス
それはピカソ
それはアルプス
すべての美しいものに会おうということ
そして
かくされた悪を注意深くこばむこと

生きているということ
いま生きているということ
泣けるということ
笑えるということ
怒れるということ
自由ということ

生きているということ
いま生きているということ
いま遠くで犬が吠えるということ
いま地球が廻っているということ
いまどこかで産声があがるということ
いまどこかで兵士が傷つくということ
いまぶんこがゆれているということ
いまいまが過ぎてゆくこと

生きているということ
いま生きているということ
鳥ははばたくということ
海はとどろくということ
かたつむりは はうということ
人は愛するということ
あなたの手のぬくみ
いのちということ

谷川 俊太郎



道徳参観日・学級懇談会



どう生きれば私たちは幸せなのか。どんな自分でありたいのか。大人の私たちでも、普段からじっくり考えることは、なかなかありません。これからの人生を、よりよく生きていくために、大人でも難しいこのテーマを子どもたちは毎週の道徳の授業で一生懸命考えています。

6月27日、道徳参観日がありました。平日でお忙しい中にも関わらず、たくさんの保護者の方に参観いただきまして、ありがとうございました。各学年で、それぞれの成長に合わせた道徳の授業を見ていただきました。

どのように周りの人と関わり、または思い遣り、社会の中で生きていていきたいのか。道徳の授業だからこそ、同い年の仲間たちの価値観や考え方に触れ、自分を見つめ返すことができます。私たちも日頃から、あらゆる場面で子どもたちとは「よりよく生きる」ことについて一緒に考えていますが、こうして全員でじっくりと時間をかけて考えることのできる道徳の時間を、これからも大切にしていきたいと思っています。

ぜひご家庭でも、道徳の時間で子どもたちが考えたことや悩んだことを聞いていただき、家族で話していただけたらと思います。

左には、谷川俊太郎さんの「生きる」という詩を紹介しています。みなさんは、次の空欄にどんな言葉を入れますか。生きるとはどういうことか考えて、思い思いの言葉を入れてみてください。そして、なぜその言葉を入れようと思ったのか、その想いを語り合ってみてください。きっと自分を見つめ直すことにもつながり、人との関わりも感じられるのではないのでしょうか。みなさんだけの「生きる」という詩をひとつ編んでみるのもいいかもしれません。

生きているということ
いま生きているということ

こと